

科目名	情報技術論（Aクラス）				
担当者	白尾 克己（SHIRAO,Katsumi）				
授業形態	講義	単位数	2単位	開講期	前期
科目コード	CM059g41LE2				
科目群	共通_4群				
必修・選択	選択				
配当年次	1				
教育プログラム	Society5.0基礎プログラム必修科目				

授業内容	ここ数年で急速に身近な生活の中に浸透してきた情報通信技術（ICT）の基礎知識や概念を学ぶことにより、現代の社会基盤であるインターネットやコンピュータ・システムの利点、欠点、それらをふまえた活用方法について考える。ICTを使ったサービス例として、図書館での情報技術の活用を取り上げ、より具体的に学ぶ。
授業の到達目標	・ ICTの基礎となる情報技術や通信技術の特徴を理解できるようになる。 ・ 情報技術や通信の統合例（図書館システム等）を具体的に説明できるようになる。 ・ 情報セキュリティについての基本的な考え方とその運用ができるようになる。

授業計画		担当者
第1回	オリエンテーション、コンピュータとは	白尾
第2回	2進法と数値表現	白尾
第3回	論理回路とコンピュータ	白尾
第4回	アナログとデジタル（コード化とその実例）	白尾
第5回	コンピュータとネットワーク	白尾
第6回	インターネット（歴史）	白尾
第7回	インターネット（通信のしくみ）	白尾
第8回	インターネット（サービス、ホームページ）	白尾
第9回	データベース（基本）	白尾
第10回	データベース（図書館DB等の実例をふまえて）	白尾
第11回	コンピュータ・システムと運用	白尾
第12回	情報セキュリティの基礎	白尾
第13回	情報セキュリティと個人情報	白尾
第14回	未来のメディア(ロボットや人工知能[AI]など)	白尾
第15回	未来のメディア、講義まとめ	白尾

授業に含まれる活動	ディスカッション・ 討論	グループワーク	プレゼンテーション・発表	実習（実験・実技）・フィールドワーク	（その他の活動）
	○	○	○		Moodleを使った理解度チェック

事前学習	・ 講義は段階的に進む。前回分まで理解しておくこと。 ・ 時限ごとの目標を自ら立てておくこと。	事前学習合計時間(h)	30時間
事後学習	・ 分からなかった用語は必ず調べておくこと。 ・ 課題は必ず取り組み、期限までに提出すること。 ・ 時限ごとの目標に対して、必ず振り返りを行うこと。	事後学習合計時間(h)	30時間
課題に対するフィードバックの方法	主にMoodleを用いる。		

質問・相談方法	講義内、講義後に質問を受け付ける。時間を要する場合は、オフィスアワー時に対応する。 必要に応じて質問、相談に対する回答をMoodleに掲載する。
使用教材	『ITパスポート<令和06年>キタミ式イラストIT塾』（技術評論社）
参考文献	適宜紹介する。
成績評価基準	コンピュータ、ネットワーク、データベース、セキュリティに関する基本的用語や仕組みを理解し、システム開発・運用における各役割をイメージできるものは合格とする。
成績評価の方法	途中の小テスト(30%)、課題(30%)、最終レポート*(40%)で評価する。 *レポートでは、読書課題と重ね合わせ、未来のシステム開発イメージを各自考察する。
GPA基準	
備考	講義ではコンピュータを使う課題もあるので、各人の電子メール、M o o d l e、図書館利用者 I D等の学内システムの I D/P W、その使い方を確認しておくこと。
<担当教員の実務経験と授業との関連>	SEとしてのシステム提案の経験から、データベース活用の重要性や、ネットワークの脅威とセキュリティの必要性について具体的に取り上げ、情報技術への興味・親近感を高める。
<読書課題の成績評価方法>	教員が指示する『読書』課題の遂行を、受講生の成績評価に加味、あるいは成績評価を受けるための前提とする。詳細は、授業の中で説明する。
資格情報	
授業の実施方法	対面授業を実施します。対面授業が実施困難な場合は原則休講とし、後日補講等を行います。